

コシヒカリ 栽培指導基準

JA名: えちご上越

地区名: ひすい地域

- この栽培指導基準を目安とした栽培を基本とします。元肥・穂肥ともに50%有機質配合肥料を使用し、ほ場条件や気象要因等により施肥量を増減してもかまいません。
○ 化学合成農薬の使用は育苗～収穫までの間に累計成分数を8成分以内の使用とします。

時期	3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
栽培管理				浸種 【種子更新】	は種（乾糲②③⑤・種子消毒A） 育苗土準備②③⑤・種子消毒A	元肥施用①	耕起・代かき			田植（15日） ①	水田初期除草剤散布 ①	水田除草剤散布 D C B	溝切り・中干し	追肥④		農道畦畔の草刈	穂肥施用⑤ E	稲こうじ病予防 E	穂肥施用⑤ F	灌水 灌水 落水（出穂後25日以降）	収穫		秋耕 土づくり資材の施用 ⑥				

※ ①～⑥、A～Fについて、JAが推奨する肥料・農薬は下表を参照願います。(なお、1つの記号に複数品目掲載されている場合1品目を選択してください。)
また、推奨品目以外でも適正な品目については、使用可能です。

■推奨肥料と施肥基準

記号	肥料名	成 分		施肥基準	備考
		N－P－K		(kg/10a)	
①	越後の輝き有機50元肥	10-13-10	有機窒素51%	25～40	側条可
	越後の輝き有機50スーパー元肥ロング	12-6-5	有機窒素50.8%	40～50	側条可
	フレーバーペースト734	7-3-4	有機窒素50%	40～50	側条専用
②	ホーネンス培土	1.3-1.3-1.3	1箱当り	2.7	床土
③	育苗床土		1箱当り	1.1	覆土
④	けい酸加里	0-0-20 ケイサン34		20～40	
⑤	越後の輝き有機穂肥	12-2-8	有機窒素50.8%	15～23	
⑥	粒状ようりんケイカル37号	0-5-0 ケイサン25 苦土7		140	
	越後の輝きソイル米スター	0-1-7 ケイサン30 苦土2		30	

■推奨農薬と農薬取締法に基づく農薬使用基準

記号	薬品名	成分数	農薬使用基準		
			希釈倍数・散布量(10a当り)	使用時期	使用回数
A	タフブロック	0 成分	200倍液 1～2日前浸漬	催芽前・催芽時	1回
B	ソルネット1 ^キ 粒剤	1 成分	1 kg	移植前7日まで・ 移植後30日まで	1回
	メテオフロアブル	1 成分	500ml		
C	パディート箱粒剤	1 成分	50g/箱	播種時覆土前～移植当日	1回
D	ベンケイ1 ^キ 粒剤	3 成分	1 kg	移植直後～30日まで	1回
	ジャスタ1 ^キ 粒剤	3 成分	1 kg		
	ウイングランフロアブル	3 成分	500ml		
	カウントダウンジャンボ	3 成分	400g		
	ウイングランジャンボ	3 成分	500g		
	ベンケイ豆つぶ	3 成分	250g		
E	Zボルドー粉剤DL	0 成分	3～4kg	出穂10日前まで	-
F	スタークル3 ^キ 粒剤	1 成分	3kg	収穫7日前まで	3回以内

こしいぶき 栽培指導基準

JA名: えちご上越

地区名: ひすい地域

時期	3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月																					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																			
栽培管理	浸種 【種子更新】			育苗土準備	は種（乾糲）	元肥施用	耕起・代かき	田植（5月10日）	田初期除草剤散布	葉いもち・薬剤散布	水田除草剤散布	溝切り・中干し	追肥④	穂肥施用⑤	農道畦畔の草刈	穂肥施用⑤	稲こうじ病予防E	灌水穂肥施用⑤	穂肥施用⑤	灌水穂肥施用⑤	落水（出穂後25日以降）	収穫		秋耕	土づくり資材の施用⑥																					
				②	①																																									
				③																																										
				⑤																																										
				・																																										
				種子																																										
				消毒																																										
				A																																										
				（箱）																																										
				（																																										
				）																																										

※ ①～⑥、A～Fについて、JAが推奨する肥料・農薬は下表を参照願います。(なお、1つの記号に複数品目掲載されている場合1品目を選択してください。)
また、推奨品目以外でも適正な品目については、使用可能です。

■ 推奨肥料と施肥基準

記号	肥料名	成分		施肥基準	備考
		N-P-K		(kg/10a)	
①	越後の輝き有機50元肥	10-13-10	有機窒素51%	35～40	側条可
	越後の輝き有機50スーパー元肥ロング	12-6-5	有機窒素50.8%	50	側条可
	フレーバーペースト734	7-3-4	有機窒素50%	50～60	側条専用
	化成オール14	14-14-14	化成100%	25	側条可
	早生多収米一発元肥307	30-10-7	化成100%	20	側条可
	コープペースト222P	12-12-12	化成100%	30	側条専用
②	ホーネンス培土	1.3-1.3-1.3	1箱当り	2.7	床土
③	育苗床土		1箱当り	1.1	覆土
④	けい酸加里	0-0-20 ケイサン34	苦土4	20～40	
⑤	越後の輝き有機穂肥	12-2-8	有機窒素50.8%	25	
	穂肥32号	14-4-14	化成100%	20	
⑥	粒状ようりんケイカル37号	0-5-0 ケイサン25	苦土7	140	
	越後の輝きソイル米スター	0-1-7 ケイサン30	苦土2	30	

■ 推奨農薬と農薬取締法に基づく農薬使用基準

記号	薬品名	成分数	農薬使用基準		
			希釈倍数・散布量(10a当り)	使用時期	使用回数
A	タフブロック	0 成分	200倍液 1～2日前浸漬	催芽前・催芽時	1回
B	ソルネット1 ^キ 粒剤	1 成分	1 kg	移植前7日まで・	1回
	メテオフロアブル	1 成分	500ml	移植後30日まで	
C	ルーチンブライト箱粒剤	3 成分	50g/箱	播種時覆土前～移植当日	1回
D	ベンケイ1 ^キ 粒剤	3 成分	1 kg	移植直後～30日まで	1回
	ジャスタ1 ^キ 粒剤	3 成分	1 kg		
	ウィングランフロアブル	3 成分	500ml		
	カウントダウンジャンボ	3 成分	400g		
	ウィングランジャンボ	3 成分	500g		
	ベンケイ豆つぶ	3 成分	250g		
E	Zボルドー粉剤DL	0 成分	3～4kg	出穂10日前まで	-
F	スタークル3 ^キ 粒剤	1 成分	3kg	収穫7日前まで	3回以内
	ダブルカットK粉剤DL	2 成分	3～4kg	穂揃期まで	3回以内

こがねもち 栽培指導基準

JA名: えちご上越

地区名: ひすい地域

時期	3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
栽培管理	浸種 【種子更新】			育苗土準備②③・種子消毒A	元肥施用①	耕起・代かき	田植（10515日）①	田間除草剤散布D	葉いもち・ドロマイムシ等防除C	水田除草剤散布	追肥④	溝切り・中干し	農道畦畔の草刈	穂肥施用⑤	穂肥施用⑤	稲こうじ病予防E	灌水	穂いもち・カメムシ防除F	灌水	灌水	落水（出穂後25日以降）	収穫				秋耕	土づくり資材の施用⑥	

※ ①～⑥、A～Fについて、JAが推奨する肥料・農薬は下表を参照願います。(なお、1つの記号に複数品目掲載されている場合1品目を選択してください。)
また、推奨品目以外でも適正な品目については、使用可能です。

■推奨肥料と施肥基準

記号	肥料名	成分		施肥基準 (kg/10a)	備考
		N	P-K		
①	越後の輝き有機50元肥	10-13-10	有機窒素51%	25～40	側条可
	越後の輝き有機50スーパー元肥ロング	12-6-5	有機窒素50.8%	40～50	側条可
	フレーザーペースト734	7-3-4	有機窒素50%	40～50	側条専用
	化成オール14	14-14-14	化成100%	20	側条可
	コープペースト222P	12-12-12	化成100%	25	側条可
②	ホーネンス培土	1.3-1.3-1.3	1箱当り	2.7	床土
③	育苗床土		1箱当り	1.1	覆土
④	けい酸加里	0-0-20	ケイサン34 苦土4	20～40	
⑤	越後の輝き有機穂肥	12-2-8	有機窒素50.8%	15～23	
	穂肥32号	14-4-14	化成100%	20	
⑥	粒状ようりんケイカル37号	0-5-0	ケイサン25 苦土7	140	
	越後の輝きソイル米スター	0-1-7	ケイサン30 苦土2	30	

■推奨農薬と農薬取締法に基づく農薬使用基準

記号	薬品名	成分数	農薬使用基準		
			希釈倍数・散布量(10a当り)	使用時期	使用回数
A	タフブロック	0 成分	200倍液 1～2日前浸漬	催芽前・催芽時	1回
B	ソルネット1 ^キ 粒剤	1 成分	1kg	移植前7日まで・ 移植後30日まで	1回
	メテオフロアブル	1 成分	500ml		
C	ルーチンブライト箱粒剤	3 成分	50g/箱	播種時覆土前～移植当日	1回
D	ベンケイ1 ^キ 粒剤	3 成分	1kg	移植直後～30日まで	1回
	ジャスタ1 ^キ 粒剤	3 成分	1kg		
	ウイングランフロアブル	3 成分	500ml		
	カウントダウンジャンボ	3 成分	400g		
	ウイングランジャンボ	3 成分	500g		
	ベンケイ豆つぶ	3 成分	250g		
E	Zボルドー粉剤DL	0 成分	3～4kg	出穂10日前まで	-
F	スタークル3 ^キ 粒剤	1 成分	3kg	收穫7日前まで	3回以内
	ダブルカットK粉剤DL	2 成分	3～4kg	穂揃期まで	3回以内

わたぼうし 栽培指導基準

JA名： えちご上越

地区名： ひすい地域

時期	3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
栽培管理	浸種 【種子更新】			育苗土準備②③⑤・種子消毒A	は種（乾糲） 元肥施用①	耕起・代かき	田植初期除草剤散布 （5/10日） ①B等防除C	葉いもち・ドロマイムシ等防除D	水田除草剤散布D		追肥④	溝切り・中干し		農道畔の草刈 穂肥施用⑤	稲こうじ病予防E	穂肥施用⑤	穂いもち・カメムシ防除F	灌水 灌水 落水（出穂後25日以降）	灌水 灌水	收穫			土づくり資材の施用⑥	秋耕			

※ ①～⑥、A～Fについて、JAが推奨する肥料・農薬は下表を参照願います。（なお、1つの記号に複数品目掲載されている場合1品目を選択してください。）
また、推奨品目以外でも適正な品目については、使用可能です。

■推奨肥料と施肥基準

記号	肥料名	成 分		施肥基準	備考
		N－P－K		(kg/10a)	
①	越後の輝き有機50元肥	10-13-10	有機窒素51%	35～40	側条可
	越後の輝き有機50スーパー元肥ロング	12-6-5	有機窒素50.8%	50	側条可
	フレーバーペースト734	7-3-4	有機窒素50%	50～60	側条専用
	化成オール14	14-14-14	化成100%	25	側条可
	早生多収米一発元肥307	30-10-7	化成100%	20	側条可
	コープペースト222P	12-12-12	化成100%	30	側条専用
②	ホーネンス培土	1.3-1.3-1.3	1箱当り	2.7	床土
③	育苗床土		1箱当り	1.1	覆土
④	けい酸加里	0-0-20	ケイサン34 苦土4	20～40	
⑤	越後の輝き有機穂肥	12-2-8	有機窒素50.8%	25	
	穂肥32号	14-4-14	化成100%	20	
⑥	粒状ようりんケイカル37号	0-5-0	ケイサン25 苦土7	140	
	越後の輝きソイル米スター	0-1-7	ケイサン30 苦土2	30	

■推奨農薬と農薬取締法に基づく農薬使用基準

記号	薬品名	成分率	農薬使用基準		
			希釈倍数・散布量(10a当り)	使用時期	使用回数
A	タフブロック	0 成分	200倍液 1～2日前浸漬	催芽前・催芽時	1回
B	ソルネット1 ^キ 粒剤	1 成分	1kg	移植前7日まで・ 移植後30日まで	1回
	メテオフロアブル	1 成分	500ml		
C	ルーチンブライト箱粒剤	3 成分	50g／箱	播種時覆土前～移植当日	1回
D	ベンケイ1 ^キ 粒剤	3 成分	1kg	移植直後～30日まで	1回
	ジャスタ1 ^キ 粒剤	3 成分	1kg		
	ウイニングランフロアブル	3 成分	500ml		
	カウントダウンジャンボ	3 成分	400g		
	ウイニングランジャンボ	3 成分	500g		
	ベンケイ豆つぶ	3 成分	250g		
E	Zボルドー粉剤DL	0 成分	3～4kg	出穂10日前まで	－
F	スタークル3 ^キ 粒剤	1 成分	3kg	収穫7日前まで	3回以内
	ダブルカットK粉剤DL	2 成分	3～4kg	穂揃期まで	3回以内

五百万石 栽培指導基準

JA名: えちご上越

地区名: ひすい地域

時期	3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
栽培管理	浸種 【種子更新】		育苗土準備②③⑤・種子消毒A	元肥施用①	耕起・代かき	田植初期(10/15日)①	葉も除草剤散布D	水田除草剤散布D		溝切り・中干し		追肥④	穂肥施用⑤	農道畦畔の草刈	穂肥施用⑤	稲こうじ病予防E	灌水	穂いもち・カメムシ防除F	灌水	灌水	落水(出穂後25日以降)	收穫		秋耕	土づくり資材の施用⑥		

※ ①～⑥、A～Fについて、JAが推奨する肥料・農薬は下表を参照願います。(なお、1つの記号に複数品目掲載されている場合1品目を選択してください。)
また、推奨品目以外でも適正な品目については、使用可能です。

■推奨肥料と施肥基準

記号	肥料名	成 分		施肥基準	備考
		N－P－K		(kg/10a)	
①	越後の輝き有機50元肥	10-13-10	有機窒素51%	35～40	側条可
	越後の輝き有機50スーパー元肥ロング	12-6-5	有機窒素50.8%	50	側条可
	フレーバーペースト734	7-3-4	有機窒素50%	50～60	側条専用
	化成オール14	14-14-14	化成100%	25	側条可
	早生多収米一発元肥307	30-10-7	化成100%	20	側条可
	コープペースト222P	12-12-12	化成100%	30	側条専用
②	ホーネンス培土	1.3-1.3-1.3	1箱当り	2.7	床土
③	育苗床土		1箱当り	1.1	覆土
④	けい酸加里	0-0-20 ケイサン34 苦土4		20～40	
⑤	越後の輝き有機穂肥	12-2-8	有機窒素50.8%	25	
	穂肥32号	14-4-14	化成100%	20	
⑥	粒状ようりんケイカル37号	0-5-0 ケイサン25 苦土7		140	
	越後の輝きソイル米スター	0-1-7 ケイサン30 苦土2		30	

■推奨農薬と農薬取締法に基づく農薬使用基準

記号	薬品名	成分数	農薬使用基準		
			希釈倍数・散布量(10a当り)	使用時期	使用回数
A	タフブロック	0 成分	200倍液 1～2日前浸漬	催芽前・催芽時	1回
B	ソルネット1 ^キ 粒剤	1 成分	1kg	移植前7日まで・ 移植後30日まで	1回
	メテオフロアブル	1 成分	500ml		
C	ルーチンブライト箱粒剤	3 成分	50g/箱	播種時覆土前～移植当日	1回
D	ベンケイ1 ^キ 粒剤	3 成分	1kg	移植直後～30日まで	1回
	ジャスタ1 ^キ 粒剤	3 成分	1kg		
	ウイニングランフロアブル	3 成分	500ml		
	カウントダウンジャンボ	3 成分	400g		
	ウイニングランジャンボ	3 成分	500g		
	ベンケイ豆つぶ	3 成分	250g		
E	Zボルドー粉剤DL	0 成分	3～4kg	出穂10日前まで	-
F	スタークル3 ^キ 粒剤	1 成分	3kg	收穫7日前まで	3回以内
	ダブルカットK粉剤DL	2 成分	3～4kg	穂揃期まで	3回以内

越淡麗 栽培指導基準

JA名: えちご上越

地区名: ひすい地域

時期	3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
栽培管理				浸種 【種子更新】	育苗土準備 ②③・種子消毒 A	元肥施用 ①	耕起・代かき	田植（1520日）	田初期除草剤散布 B	葉いもち・ドロオイムシ等防除 C	水田除草剤散布 D	溝切り・中干し	追肥 ④	農道畦畔の草刈	穂肥施用 ⑤	灌水 稲こうじ病予防 E	穂肥施用 ⑤	穂いもち・カメムシ防除 F	灌水	落水（出穂後25日以降）	収穫		秋耕 土づくり資材の施用 ⑥				

※ ①～⑥、A～Fについて、JAが推奨する肥料・農薬は下表を参照願います。(なお、1つの記号に複数品目掲載されている場合1品目を選択してください。)
また、推奨品目以外でも適正な品目については、使用可能です。

■推奨肥料と施肥基準

記号	肥料名	成分		施肥基準	備考
		N-P-K		(kg/10a)	
①	越後の輝き有機50元肥	10-13-10	有機窒素51%	25～40	側条可
	越後の輝き有機50スーパー元肥ロング	12-6-5	有機窒素50.8%	40～50	側条可
	フレーバーペースト	7-3-4	有機窒素50%	40～50	側条専用
	化成オール14	14-14-14	化成100%	20	側条可
	コープペースト222P	12-12-12	化成100%	25	側条専用
②	ホーネンス培土	1.3-1.3-1.3	1箱当り	2.7	床土
③	育苗床土		1箱当り	1.1	覆土
④	けい酸加里	0-0-20 ケイサン34 苦土4		20～40	
⑤	越後の輝き有機穂肥	12-2-8	有機窒素50.8%	15～23	
	穂肥32号	14-4-14	化成100%	20	
⑥	粒状ようりんケイカル37号	0-5-0 ケイサン25 苦土7		140	
	越後の輝きソイル米スター	0-1-7 ケイサン30 苦土2		30	

■推奨農薬と農薬取締法に基づく農薬使用基準

記号	薬品名	成分数	農薬使用基準		
			希釈倍数・散布量(10a当り)	使用時期	使用回数
A	タフブロック	0 成分	200倍液 1～2日前浸漬	催芽前・催芽時	1回
B	ソルネット1 ^キ 粒剤	1 成分	1 kg	移植前7日まで・ 移植後30日まで	1回
	メテオフロアブル	1 成分	500ml		
C	ルーチンブライト箱粒剤	3 成分	50g/箱	播種時覆土前～移植当日	1回
D	ベンケイ1 ^キ 粒剤	3 成分	1 kg	移植直後～30日まで	1回
	ジャスタ1 ^キ 粒剤	3 成分	1 kg		
	ウイングランフロアブル	3 成分	500ml		
	カウントウンジヤンホ	3 成分	400g		
	ウイングランジヤンホ	3 成分	500g		
	ベンケイ豆つぶ	3 成分	250g		
E	Zボルドー粉剤DL	0 成分	3～4kg	出穂10日前まで	-
F	スタークル3 ^キ 粒剤	1 成分	3kg	収穫7日前まで	3回以内
	ダブルカットK粉剤DL	2 成分	3～4kg	穂揃期まで	3回以内